



2025年2月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年7月8日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社ライフコーポレーション
コード番号 8194 URL <http://www.lifecorp.jp/>



代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 岩崎 高治
問合せ先責任者 (役職名) 財務部長兼IR部長 (氏名) 宮田 幸一 TEL 03-6717-2500

四半期報告書提出予定日 2024年7月12日 配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無：有

四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年2月期第1四半期の連結業績（2024年3月1日～2024年5月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年2月期第1四半期	206,382	5.4	6,945	9.4	7,151	9.0	4,867	10.2
2024年2月期第1四半期	195,864	5.4	6,347	15.0	6,559	14.7	4,418	11.0

(注) 包括利益 2025年2月期第1四半期 5,015百万円 (15.0%) 2024年2月期第1四半期 4,360百万円 (10.5%)

(参考) 営業収益は、売上高と営業収入の合計であります。

売上高 2025年2月期第1四半期 198,640百万円 (5.1%) 2024年2月期第1四半期 188,981百万円 (5.4%)
営業収入 2025年2月期第1四半期 7,741百万円 (12.5%) 2024年2月期第1四半期 6,882百万円 (5.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
2025年2月期第1四半期	円 銭 103.72	円 銭 —
2024年2月期第1四半期	円 銭 94.16	円 銭 —

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
2025年2月期第1四半期	百万円 292,000	百万円 139,520	% 47.8	円 銭 2,972.87
2024年2月期	百万円 287,146	百万円 136,855	% 47.7	円 銭 2,916.09

(参考) 自己資本 2025年2月期第1四半期 139,520百万円 2024年2月期 136,855百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2024年2月期	円 銭 —	円 銭 40.00	円 銭 —	円 銭 50.00	円 銭 90.00
2025年2月期	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 —
2025年2月期（予想）	円 銭 —	円 銭 50.00	円 銭 —	円 銭 50.00	円 銭 100.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2025年2月期の連結業績予想（2024年3月1日～2025年2月28日）

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	853,400	5.4	24,700	2.4	25,500	2.2	17,000	0.4	362.23

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年2月期1Q	49,450,800株	2024年2月期	49,450,800株
② 期末自己株式数	2025年2月期1Q	2,519,556株	2024年2月期	2,519,531株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2025年2月期1Q	46,931,262株	2024年2月期1Q	46,927,963株

(注) 期末自己株式数には、「取締役向け株式交付信託」の信託財産として株式会社日本カストディ銀行（信託口）が保有する当社株式（2025年2月期1Q 80,500株、2024年2月期 84,300株）が含まれています。
また、株式会社日本カストディ銀行（信託口）が保有する当社株式を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めています。（2025年2月期1Q 80,500株、2024年2月期1Q 84,300株）

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7
(重要な後発事象)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、一部に足踏み状態がみられるものの穏やかな回復基調となりました。一方で円安の影響、地政学的リスク、世界経済の不確実性等により、先行き不透明な状況が継続しております。

当社グループの事業領域である食品スーパー業界におきましては、商品価格の上昇等により収益面では底堅く推移しましたが、業種・業態の垣根を越えた競争の激化、人件費や各種コストの上昇等、企業運営を取り巻く環境は予断を許さない状況です。

こうした経営環境のもと、当社グループは、経営理念・ビジョン・ライフらしさ宣言の実現に向け2030年度に当社が目指す姿を見据えて、以下の3つを主要テーマとし2023年度よりスタートした「第七次中期経営計画」に今期も全社を挙げ取り組んでおります。

- ・人への投資～従業員の成長と従業員満足度向上によるモチベーションアップが、第七次中期経営計画を前進させ会社の成長につながるという認識から、人財の成長や働きがいのある職場にするための投資を行います。
- ・同質化競争からの脱却～ライフにしかない「商品」「サービス」に磨きをかけるとともに、お客様とライフがシームレスにつながる便利なお買い物環境の実現に向け「ネット事業」の拡大、スマートフォンで使用できるライフアプリによる情報提供により、お客様に快適なお買い物体験を提供することを目指します。
- ・持続可能で豊かな社会の実現への貢献～「地域のライフライン」として、持続可能で豊かな社会の実現のための取り組み（環境負荷低減、地域社会への貢献等）を実施していきます。

また、人口減少に伴う人手不足やモノ・サービス等の価格上昇によってコスト増大する事業環境下でも2030年度を目指す姿に向けて着実に3つのテーマを含めた経営戦略を推進していくために、生産性の向上とコストの最適化を軸とした「カイゼン」活動に全従業員が自ら取り組んでおります。

第七次中期経営計画に基づく経営戦略推進の具体的な取り組みとしては、3月にBIO-RAL事業本部を立ちあげ、オーガニック、ローカル、ヘルシー、サステナビリティのコンセプトに沿った「BIO-RAL（ビオラル）」商品を拡大するとともに、「BIO-RAL（ビオラル）」店舗を2店舗新設するなど同質化競争からの脱却を着実に推進しております。また、2021年2月から日配品を対象として導入を開始したAI需要予測による発注自動化サービスを生鮮部門の発注にも範囲を広げ、ほぼ全店で稼働する等、作業軽減、業務効率化の取り組みを推進しております。加えて持続可能で豊かな社会の実現への貢献の取り組みとして、東京都において子ども食堂への寄付を3月より練馬区で、5月より板橋区、江戸川区で開始し、合わせて6区にて実施しております。また、当社が出店している地域の子どもの食堂への商品寄付や食・環境に関する小学生向けの「出前授業」を継続しております。自社加工センターでのバイオガス発電事業などの「持続可能で豊かな社会の実現に貢献する食品廃棄削減のための取り組み」が「令和5年度おおさか環境賞」の事業者活動部門において大賞を受賞いたしました。

新規店舗としては、3月に池袋三丁目店（東京都）、ビオラルみのおキッズモール店（大阪府）、ビオラル国立駅前店（東京都）、4月にソコラ所沢店（埼玉県）、5月に目黒八雲店（東京都）を出店し、1店舗を閉店いたしました。既存店舗では、南津守店で「BIO-RAL（ビオラル）」商品や冷凍食品・惣菜等の品揃えを拡充する改装を行いました。

当社グループの業績におきましては、新規出店、ネットスーパーの拡大、「BIO-RAL（ビオラル）」等のプライベートブランド商品の強化、鮮度・おいしさを追求した商品施策等を実施した結果、営業収益は2,063億82百万円（前年同四半期比5.4%増）となりました。一方、販管費は、新規出店に伴う賃借料等の各種物件費の増加に加え、人への投資・処遇改善等に伴い人件費も増加しましたが、カイゼン活動による生産性の向上、コスト最適化の取り組みを推進した結果、営業利益は69億45百万円（前年同四半期比9.4%増）、経常利益は71億51百万円（前年同四半期比9.0%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は48億67百万円（前年同四半期比10.2%増）となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりです。

(小売事業)

営業収益は2,063億10百万円（前年同四半期比5.4%増）、売上高は1,986億40百万円（前年同四半期比5.1%増）、セグメント利益は70億39百万円（前年同四半期比9.1%増）となりました。

なお、部門別売上高は、生鮮食品部門が868億23百万円（前年同四半期比5.3%増）、一般食品部門894億25百万円（前年同四半期比5.7%増）、生活関連用品部門168億6百万円（前年同四半期比3.5%増）、衣料品部門55億85百万円（前年同四半期比1.6%減）となりました。

(その他)

株式会社ライフフィナンシャルサービスの営業収益は6億97百万円（前年同四半期比2.5%増）、セグメント利益は1億11百万円（前年同四半期比4.7%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は、2,920億円と前連結会計年度末に比べ48億53百万円増加いたしました。

流動資産は、865億92百万円と前連結会計年度末に比べ37億43百万円増加いたしました。これは主として現金及び預金が8億17百万円、売掛金が72億42百万円、商品及び製品が18億30百万円それぞれ増加した一方、未収入金（流動資産その他）が61億58百万円減少したことによるものであります。

固定資産は、2,054億7百万円と前連結会計年度末に比べ11億9百万円増加いたしました。これは主として店舗の新設などにより減価償却後の有形固定資産が4億23百万円、無形固定資産が1億31百万円、投資有価証券（投資その他の資産その他）が2億80百万円それぞれ増加したことによるものであります。

当第1四半期連結会計期間末の負債合計は、1,524億79百万円と前連結会計年度末に比べ21億89百万円増加いたしました。これは主として買掛金が55億56百万円増加した一方、未払法人税等が21億5百万円減少したことによるものであります。

当第1四半期連結会計期間末の純資産合計は、1,395億20百万円と前連結会計年度末に比べ26億64百万円増加いたしました。これは主として利益剰余金が25億17百万円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年2月期の連結業績予想につきましては、2024年4月10日の「2024年2月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想からの変更はありません。

なお、今後の景気・個人消費動向を注視し、連結業績予想の見直しが必要となった場合には、速やかに開示することといたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年2月29日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,606	9,424
売掛金	9,560	16,803
商品及び製品	27,900	29,730
原材料及び貯蔵品	273	244
未収入金	32,072	25,913
その他	4,436	4,476
流動資産合計	82,849	86,592
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	91,732	92,445
土地	39,614	39,614
その他(純額)	24,969	24,679
有形固定資産合計	156,315	156,739
無形固定資産	5,484	5,616
投資その他の資産		
差入保証金	25,360	25,482
退職給付に係る資産	851	822
その他	16,327	16,788
貸倒引当金	△42	△41
投資その他の資産合計	42,497	43,051
固定資産合計	204,297	205,407
資産合計	287,146	292,000
負債の部		
流動負債		
買掛金	45,332	50,888
短期借入金	19,400	20,100
1年内返済予定の長期借入金	10,342	9,906
未払法人税等	5,335	3,230
賞与引当金	2,971	5,505
販売促進引当金	19	19
その他	34,816	31,593
流動負債合計	118,219	121,244
固定負債		
長期借入金	19,922	19,189
役員株式給付引当金	50	43
資産除去債務	5,917	5,983
その他	6,180	6,018
固定負債合計	32,071	31,235
負債合計	150,290	152,479
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,004	10,004
資本剰余金	5,696	5,696
利益剰余金	122,560	125,078
自己株式	△3,831	△3,831
株主資本合計	134,430	136,947
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	881	1,076
土地再評価差額金	△1,154	△1,154
退職給付に係る調整累計額	2,698	2,650
その他の包括利益累計額合計	2,425	2,572
純資産合計	136,855	139,520
負債純資産合計	287,146	292,000

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年5月31日)
売上高	188,981	198,640
売上原価	129,831	137,413
売上総利益	59,150	61,227
営業収入	6,882	7,741
営業総利益	66,032	68,969
販売費及び一般管理費	59,684	62,024
営業利益	6,347	6,945
営業外収益		
受取利息	31	28
受取配当金	4	4
リサイクル収入	89	87
その他	141	147
営業外収益合計	266	268
営業外費用		
支払利息	45	46
その他	9	14
営業外費用合計	55	61
経常利益	6,559	7,151
特別損失		
店舗閉鎖損失	—	9
固定資産除却損	35	0
その他	8	—
特別損失合計	44	9
税金等調整前四半期純利益	6,514	7,141
法人税、住民税及び事業税	2,648	2,737
法人税等調整額	△552	△463
法人税等合計	2,095	2,273
四半期純利益	4,418	4,867
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,418	4,867

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年5月31日)
四半期純利益	4,418	4,867
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△27	194
退職給付に係る調整額	△30	△47
その他の包括利益合計	△58	147
四半期包括利益	4,360	5,015
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,360	5,015

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2023年3月1日 至 2023年5月31日)

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント	その他(注) 2	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額(注) 3
	小売事業				
営業収益(注) 1					
顧客との契約から 生じる収益	194,471	296	194,768	—	194,768
その他の収益(注) 4	1,095	—	1,095	—	1,095
外部顧客への営業収益	195,567	296	195,864	—	195,864
セグメント間の内部 営業収益又は振替高	240	383	623	△623	—
計	195,807	679	196,487	△623	195,864
セグメント利益	6,452	106	6,559	—	6,559

(注) 1 営業収益は、売上高と営業収入の合計であります。

2 「その他」はクレジットカード事業等であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

4 その他の収益には、「リース取引に関する会計基準」(企業会計基準第13号)に基づく不動産賃貸収入等が含まれております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2024年3月1日 至 2024年5月31日)

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント	その他(注) 2	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額(注) 3
	小売事業				
営業収益(注) 1					
顧客との契約から 生じる収益	204,944	319	205,263	—	205,263
その他の収益(注) 4	1,118	—	1,118	—	1,118
外部顧客への営業収益	206,063	319	206,382	—	206,382
セグメント間の内部 営業収益又は振替高	246	377	624	△624	—
計	206,310	697	207,007	△624	206,382
セグメント利益	7,039	111	7,151	—	7,151

(注) 1 営業収益は、売上高と営業収入の合計であります。

2 「その他」はクレジットカード事業等であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

4 その他の収益には、「リース取引に関する会計基準」(企業会計基準第13号)に基づく不動産賃貸収入等が含まれております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。